

『中経連テクノフェア2008』出展報告

『中経連テクノフェア2008』に出展しました。10月8日（水）名古屋栄ビルディングにて、“産産・産学連携推進活動の環境と、支援の輪の広がり”をテーマとしたフォーラムおよび技術展示会（中経連会員企業、大学、研究期間及び全国各地の支援機関推薦のシーズ展示）が行われました。経済産業省中部経済産業局地域経済部新規事業課長様より地域企業の技術開発力向上のために役立つ取り組みであるとの評価をいただきました。展示ブースへご来場いただいた方々には深謝いたします。

また、この日は本学の卒業生である益川敏英名古屋大学特別招へい教授・京都産業大学理学部教授と小林誠高エネルギー加速器研究機構名誉教授がノーベル物理学賞、本学の元助教授である下村 脩米・ボストン大学名誉教授は、ノーベル化学賞を受賞される栄誉に輝かれる速報が入りました。

益川敏英特別招へい教授は、昭和37年本学理学部を卒業、昭和42年同大学院理学研究科博士課程を修了した後、同理学部助手、東京大学原子核研究所教授、京都大学基礎物理学研究所教授等を経て、平成15年から現職に就任、平成19年10月からは本学特別招へい教授を委嘱されています。

小林誠高エネルギー加速器研究機構名誉教授は、昭和42年本学理学部を卒業、昭和47年同大学院理学研究科博士課程を修了した後、京都大学理学部助手、高エネルギー物理学研究所教授、高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所長を経て、平成18年に同機構名誉教授になられています。

下村 脩米・ボストン大学名誉教授は、昭和35年本学大学院理学研究科で理学博士の学位を取得した後、同年、米・プリンストン大学にフルブライト留学、昭和38年から本学理学部助教授として2年間在籍されていました。



展示ブースと名古屋大学出身者ノーベル賞受賞速報